



国際交流基金

<http://www.jpff.go.jp/>

PRESS RELEASE

February 26, 2007 No.235

平成18年(2006)年度 安倍フェローが決まりました

安倍フェローシップは、世界の知的交流を担う人材の育成と、社会科学および人文科学分野における研究者の国際的なネットワーク作りを目的とした研究奨学金プログラムです。米国学術団体評議会(ACLS)の協力を得て、米国社会科学研究評議会(SSRC)と日米センター(CGPI)が運営しています。1991年のプログラム開始以来、フェローの累計は234名を数え、その多くは大学やシンクタンクの研究者として、あるいはジャーナリズムや法律の専門家として、各界の第一線で活躍しています。

今般、今年度の安倍フェローが以下のとおり決定しましたのでお知らせします。

氏名(アルファベット順) / 所属(申請当時) / 研究テーマ

- ・ダニエル・オールドリッチ / チューレーン大学政治学助教授 / 災害後復興における市民社会の役割
- ・エリック・ブラウン / ミズーリ大学コロンビア校社会学助教授 / 人種・社会階級とマイノリティ中産階級の形成: アフリカ系アメリカ人と日本の部落民の事例
- ・ヨウコ・クルーム / ノースカロライナA&T州立大学社会学部助教授 / 中産階級向け長期介護つき高齢者住宅の日米比較研究
- ・ペッパー・カルペッパー / ハーバード大学ケネディー行政学院助教授(公共政策) / もはや忍耐はないのか?: 協調経済における変化と非公式制度
- ・クリスティーナ・デイビス / プリンストン大学政治学部助教授(政治・国際関係) / 市場開放の裁定と政治: 日米の貿易戦略
- ・伊藤恵子 / 専修大学経済学部助教授 / サービス業におけるクロスボーダーM&A: 日本と米国との比較研究
- ・実積寿也 / 九州大学経済学部助教授 / ブロードバンド整備支援と競争促進を巡る通信政策の比較分析
- ・加野彩子 / ペンシルバニア大学東アジア言語文明学部準教授 / 男女共同参画、ジェンダーフリー、そしてバックラッシュ: ジェンダー政策論争の日米比較
- ・勝田忠広 / 東京大学大学院法学政治学研究科客員研究員 / 核不拡散と核平和利用の同時達成は可能か -核燃料サイクル国際管理構想における日本と米国の課題と新たな提案-
- ・松井剛 / 一橋大学大学院商学研究科助教授 / 日米消費文化の相互浸透: 外国消費文化の制度化に関する比較研究
- ・道下徳成 / 防衛研究所研究部上級研究員 / 北朝鮮の瀬戸際外交および関係諸国の対応に関する政策評価
- ・ヒュンジュン・パク / ペンシルバニア大学社会学部助教授 / 日韓米の単身家庭と子供の教育
- ・フランツィスカ・セラフィム / ボストン大学史学部助教授 / タイ・ベトナムにおける貧困削減政策プログラム: その効果と他の発展途上国へのインプリケーション
- ・シーラ・スミス / 東西センター研究部研究員 / 日本外交論議における中国の位置: 「戦後の日本」再構築における諸問題

取材申込み・お問合せ 日米センター 知的交流課

電話: 03-5562-3542 担当: 稲田

「地球を、開けよう。」

情報センター
〒107-6021 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 21 階
Tel:03-5562-3538 Fax:03-5562-3534